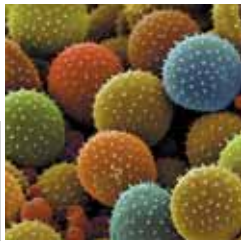


吸着タイプ除塵・除菌マット

ダイセム クリーンゾーン マット (英国製)



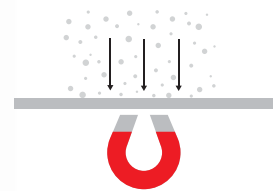
Dycem Controls Contamination

リスク管理とコンタミネーション コントロール

汚染を防止する高性能ダイセムマットは、先端の技術による独自のポリマー化合物から出来ています。汚染は空中に浮遊する塵、細菌、バクテリア等によっても引き起され、製造過程での製品不良、製造設備の操業停止による損害、病院施設で起こる院内感染で顧客や患者の信頼を失うなど、計り知れないリスクや損失をダイセムマットは確実に解消します。

衣服のホコリや毛髪の除去

更衣室などは部屋全体に敷詰めることにより、毛髪や衣類のホコリまで吸着し、よりクリーンな状態で作業室に入れます。



歩行や車輪からの汚染除去

高性能ダイセムマットの柔らかい弾力性のある表面は、靴や車輪とピッタリ接触し、小さな粒子を高密度に捕えます。少なくとも6歩、または車輪が完全に3回転するマットの長さを必要とします。

靴底の微粒子の除去

ダイセムの滑らかな表面は自然な粘性のポリマーにより100ミクロンを超える粒子から0.2ミクロン未満のものまで、99%以上引きつけ、集め、保持することを可能にします。



剥がすタイプの粘着マットと、ダイセム クリーンゾーン マットの違い

従来の剥がしめくり型では、一度付着した粉塵がマットを剥がす際に再飛散してしまいます。「ダイセム クリーンゾーン マット」は、水と洗剤を使って閉じ込めるので飛散しません。



剥がしめくりタイプは焼却すると多量のCO₂やダイオキシンが発生し、地球環境への配慮や温暖化の防止に対応していない上、産業廃棄物としての処理にも費用がかかります。



〈剥がしめくりマット〉



〈メンテナンス〉



〈姉妹品プロテクターマット）
置くだけタイプ



〈クリーンルーム入口〉



Certificate No. FM23716
ISO 9001 : 2000



Dycem Cleanzone Mat

ダイセム クリーンゾーン マット

粉塵や細菌による汚染の防止策として英国で開発された画期的な除塵・除菌マットです。この最先端のマットは長期間使用可能で、経済性に優れ、環境にもやさしく、清掃も簡単です。ダイセム マットは15余年にわたり世界40数カ国に導入され、その効果が実証されています。

特徴

1. 汚染の80%は靴底から持ち込まれ、その危険性に画期的な効果

簡単で、長期間にわたり効果を発揮するこのマットは、病院の手術室並びにICU室などで医者や、看護師が出入りする靴底や、器具の運搬車の車輪から運ばれてくる汚染によって引き起こされる危険性に対し、画期的な効果をもたらします。

2. 靴底の99%の除塵・除菌

このマットは精密工場、製薬工場、食品製造工場等の高度の無塵・無菌環境を求められる工場や研究室の出入口並びに出入口に通じる廊下、エアシャワールームの床に採用され、靴底などの汚染を99%除塵・除菌をします。

(European Journal of PARENTAL SCIENCE誌に発表されたGSK社のDr.Caloline Cribbonのデータより)

3. サルモネラ菌、藻類など50種類以上の微生物に対する抗菌効果

バイオマスターや銀イオンの効果により、50種類以上の微生物に対し繁殖を防ぐ効果があります。

4. 容易なメンテナンス

ダイセムマットは清掃も極めて簡単です。吸着力の低下時に希釈した洗剤やアルコール溶液等でマットの表面を拭き、スキージー（ゴムの水切りほうき）で水分を取り除きます。それでマットの表面上の汚染物が拭取られ、吸着力が復元します。（通行人数が多い場合には、清掃回数を増やすことによりクリーン効果が維持できます。）

5. 世界40数カ国で証明されている実績

NASA、セイコーエプソン、SONY、東芝、ファイザー、富士通、日立ディスプレイズ、三菱、BOSCH、ナショナルセミコンダクター、HOYA、SSL INTERNATIONAL、NOKIA、パイエル、アステラス、キャノン、3M Healthcare、NEC、SAMSUNG、Du Pont、(順不同)など多くの世界企業で採用され、その効果が認められています。

バイオマスター分析証明書

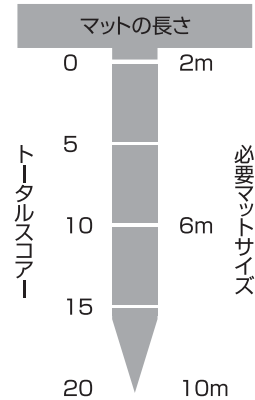


ダイセムマットの設置と必要サイズ

ダイセムマットの使用可能期間は約3年です。使用されるマットのサイズは1日にその場所を通過する人数並びに台車の通行頻度、表面の清掃頻度などにより決定します。また設置場所により自由に、長さ、広さを調整できます。

■ダイセムマットの必要サイズの目安

	ダイセムマットのサイズ	出入り人数	スコア
A	一日に出入りする人数は？ (平均的なシフトは おおよそ出入り5回を想定)	0~10	1
		10~25	2
		25~50	4
		50~100	6
		100+	10
B	清掃の頻度 (清掃から乾燥までの 通常のメンテナンスを想定)	1日1回以下	10
		1日1回	5
		シフト毎に1回	2
		シフト毎に2回	1
A+B		出入り人数+清掃の頻度	合計



〈例〉 出入り人数50~100人で、清掃の頻度が1日1回の場合は出入り人数のスコアは6で、清掃の頻度のスコアは5です。従ってトータルスコアは6+5で合計11となります。マットの長さを見るとトータルスコアが11ですと必要マットサイズは約6mということになります。
※マットの設置場所に十分な長さが確保できない場合は、清掃回数を増やし吸着力を維持します。

導入効果

1. クリーンレベル100~10,000のレベルのコンタミネーション管理に最も有効です。
2. 不完全製品率が低下することにより、生産性とコスト削減性が向上し収益が改善します。
3. 重要なエリアの清掃コストの低減します。
4. 設置は両面接着シートで貼るため下地を傷めず臭いもありません。
5. 耐用年数は約3年で費用対効果の高いマットです。

マットの種類

マットは使用目的によって使い分けることをお勧めします。



クリーンゾーン マット (人と軽量カート)



ワークゾーン マット (人と重量カート)



プロテクターマット (少人数向け 移動タイプ)

マットのライフサイクル

一般的な使用と定期的な清掃によって、ダイセムマットの吸着力のパフォーマンスは、約3年持続します。しかし、規定人数を超えての使用、清掃方法や頻度が求められている内容や条件と異なる場合には、マットのライフサイクルはこの限りではありません。

■ダイセム クリーンゾーン マットのライフサイクル

